



第四十八号 平成二十一年十月一日（木）発行

学区ふれ合いウォーク

雲一つない秋晴れのもと、今年も九月二十七日の日曜日に、「作左の里」で学区ふれ合いウォークが行われました。今年で十一回目。開始時間を待ちきれない子供たちの姿を、朝早くからあちらこちらに見かけました。また、子供同士だけではなく、親子連れ、ベビーカーを押すお母さん、おじいさんやおばあさんと歩く子供、夫婦で歩く

姿など、老若男女関係なく、まさに地域が一つになってふれ合う活動となっていることが感じられました。ポイントとは昨年と同じ十一か所。法性寺、犬頭神社、妙圀寺、大久保東海、御鋸神社、大聖寺、浄妙寺、松林寺、市民ホーム、なのはな遊歩道、そして、西部小学校です。朝九時ごろには行列ができる場所が多

く、御鋸神社では、六百個用意した景品が、一時間ほどでなくなってしまうという嬉しい悲鳴となりました。なのはな遊歩道では、西部小学校の子が植えたコスモスが道行く人に秋を感じさせてくれました。

子供たちは、ポイントでスタンプを押してもらおうことをとても楽しみにしています。しかし、それだけではなく、各々の場所にかけてもらう「がんばってね」「あと少しだよ」といった励ましの声に、知らず知らずのうちに地域の温かさを感じ取っているようにみえました。

道路に書かれた矢印や交差点に立って見守る人など、今年も多くの人に支

えられながら、さわやかな秋の一日を過ごすことができました。



【なのはな遊歩道を散策する人】



【法性寺でダーツを待つ人】